

RI 会長テーマ

Rotary : Making a Difference

ロータリー：変化をもたらす



2017-18年度 国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

(Sandringhamロータリークラブ所属 オーストラリア・ビクトリア州 公認会計士)

東チモールでの活動を称えられて政府より「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。オーストラリアの地域社会への貢献が認められてオーストラリア勲章を受勲。また、ロータリー財団からは、特別功労賞、「ポリオのない世界のための奉仕賞」地域賞を受賞。

ロータリー：変化をもたらす

数年前、知人からある質問をされました。「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に思わず止まってしまいました。ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。

ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、

ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらおうことが、いかに

重要であるかを認識しています。

ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感とは、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一人であることから湧き出てくるものなのです。

目 標

クラブのサポートと強化

さまざまな考え方や経験をもつ会員がいれば、クラブに新鮮なアイデアがもたらされ、地域のニーズを幅広い角度から理解できます。クラブが地元や世界に変化をもたらすには、会員の積極的参加を促し、そのスキルと関心を生かし、会員の声をクラブの未来に反映させていくことが大切です。クラブの会員基盤を広げ、多様な会員を増やし、積極的な参加を促しましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する。
- クラブの戦略計画を更新または立案する。達成をロータリークラブ・セントラルで報告する。
- 会員数の純増：ロータリーの記録上、2017年7月1日と比べ、2018年7月1日時点で、会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の会員純増を達成する。
- 女性会員の純増：会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 40歳未満の会員の純増：(1977年7月1日より後に生まれ、2017年7月1日～2018年7月1日に入会した会員が対象)会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。例会以外の活動に会員が参加する。ロータリークラブ・セントラルに、クラブの親睦活動を少なくとも1つ入力するか、50%を超える会員がクラブの奉仕活動に参加したことを記録する。

人道的奉仕の重点化と増加

地元や海外での奉仕プロジェクトを通じて、クラブは世界的な人道的問題に取り組みます。これには、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の発展、環境保護、ポリオ撲滅などが含まれます。

ロータリアン、若い世代、ロータリー学友、一般の人びとに、ロータリープログラムや重点分野の活動への参加、およびロータリー財団への寄付を呼びかけ、地元や世界に変化をもたらしましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ポリオ関連の募金活動またはアドボカシー(支援呼びかけ)イベントを開催する、または、そのようなイベントに会員が参加する

- グローバル補助金または地区補助金を利用したプロジェクトを少なくとも1件提唱する。
- より大きな成果をもたらす、プロジェクトの幅を広げ、可視性を高めるために、地域内のほかのロータリークラブと協力する。
- 持続可能なプロジェクトにロータリー・ファミリーに参加してもらう。ローターアクター、インターアクター、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー学友に、クラブのプロジェクトや行事に参加してもらう。
- ロータリーがさらに多くの奉仕を行っていきけるよう、2016-17年度よりもロータリー財団へのクラブからの寄付を少なくとも10%増やす(日本円で計算)。

ロータリー公共イメージと認知度の向上

公共イメージが良くなれば、クラブと地域社会との関係も良くなり、入会への関心も高まります。地元や世界に変化をもたらすクラブの活動について魅力あるストーリーを伝えることで、地域社会でクラブの公共イメージを良くし、ロータリーへの認知度を高めましょう。

以下のうち少なくとも4項目を達成：

- ロータリーのイメージを強化するために、クラブのあらゆるコミュニケーションに、ブランドのガイドライン、テンプレート、そのほかのリソースを使う。
- クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを定期的に更新して、クラブの活動を紹介し、地元や世界でのロータリーの活動成果を伝える。
- 世界ポリオデーを支援するために、地元イベントを開催し、その周知を図る。
- 1つまたは複数の企業、政府機関、あるいは非政府団体と提携し(または提携を継続し)、1つのプロジェクトで協力する。
- 地元地域で重要な問題を扱った地域フォーラムまたはセミナーを開催する。このフォーラム/セミナーでは、問題への解決策を見つけるために地元の人たちを集め、クラブの活動を紹介する。
- クラブのプロジェクトやイベント、または募金活動を地元メディアに報道してもらう。
- 少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れるか、少なくとも1名のRYLA参加者を支援することによって、平和を推進し、未来のリーダーを育成する。

2016-17年度 RID2780 地区運営方針

- 1) 増強を最重点にします。
 - ・ 女性会員と若い会員の増強を軸に会員50名以下のクラブは1名以上。
51名以上のクラブは2名以上を継続。
(クラブの現状をしっかりと理解、把握した上で増強・会員維持を行う)

- 2) 戦略計画の実。
 - ・ 公共イメージと認知度の向上(メディアとの連携)を重点に。
(より認知度を向上させ増強に繋げる。RIは世界を変えたトップ10で3位に、
チャリティーナビゲーターで4つ星を獲得しました)

 - ・ 長期計画目標と実行(10年後のイメージ)

- 3) R財団(平和への貢献です、寄付という表現ではなく、奉仕活動への
資金源であり、奉仕の実践への貯金です)。
 - ★ R財団寄付目標 年次寄付 200ドル以上/人
ポリオ寄付 40ドル以上(撲滅までの理解)
恒久基金寄付 1,000ドル以上/クラブ
 - ★ 財団基金の活用: 地区補助金・グローバル補助金の積極的利用。
(2017-18年度 地区補助金は89,600ドルです)
 - ★ 米山記念奨学会寄付 20,000円以上/人

- 4) RI会長賞(3つの戦略的目標のうち各4項目)

- 5) マイロータリーの登録率向上
(現在当地区の登録率は18.3% 各クラブ25%以上を目標)

- 6) 柔軟性の正しい理解(2016年規定審議会)
柔軟性の導入はクラブの自主性においてクラブの総意で決定して頂きたい。
「柔軟性の導入は」は厳しくすることも緩和することもできます。
決して緩和だけではありません。
また導入によって成果が出なければ意味がありません)

2017-18年度 第2780地区

第8グループ ガバナー補佐

常盤 卓嗣
(ときわ たくじ)



時代とともにロータリーの価値観は大きく変わろうとしています。本年度 RI 会長イアンライズリー氏は、ロータリー 変化をもたらすとメッセージを発信しています。又、大谷ガバナーはクラブの活性化と会員増強維持を重点事項として一年間活動していく事となっています。地区の方針を正しくクラブに伝え、クラブの声を地区に伝える、その役回りをしつかり果たして参りたいと考え一年間行動していきます。よろしく御協力の程お願い申し上げます。

ク ラ ブ 現 況 報 告

名 称：大磯ロータリークラブ（14134）

事 務 所：〒259-0193 神奈川県平塚市豊原町22-13

TEL/FAX：0463-36-2255

E-mail：oisorc@oboe.ocn.ne.jp

例 会：木曜日 12:30～13:30

例 会 場：大磯プリンスホテル 〒259-0193 神奈川県中郡大磯町国府本郷546

TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

地 域：大磯町全域 面 積 17,232平方キロメートル
人 口 31,454人（6月1日現在）
世 帯 数 12,460世帯（6月1日現在）

沿 革：(1)1967年4月13日 平塚RC（特別代表・故 岩堀政臣）により仮クラブ発足
(2)1967年5月 5日 国際ロータリー加盟承認
(3)1967年11月5日 認証状伝達式
(4)1977年 4月9日 創立10周年記念式典
(5)1987年4月15日 創立20周年記念式典
(6)1997年4月13日 創立30周年記念式典
(7)2007年4月14日 創立40周年記念式典
(7)2017年4月13日 創立50周年記念式典

会 員：(1)2017年7月1日現在 13名（創立時チャーターメンバー25名）

姉妹クラブ：(1)小諸RC 長野県 小諸市 第2600地区 1998/5/16締結
(2)いわき鹿島RC 福島県いわき市 第2530地区 2013/4/13締結
友好クラブ：(1)デイトンRC 米国 オハイオ州 第6670地区 1968/9/19締結
(2)ラシндаウンタウンRC 米国 ウィスコンシン州 第6270地区 1982/7/1 締結
(3)ワイアナエコーストRC/米国 ハワイ州 第5000地区 1994/4/30締結

2017-18年度理事役員

理 事

| | |
|---------------------------|-----------|
| 会 長 | 新 宅 文 雄 |
| 会 長 エ レ ク ト (クラブ運営委員長) | 守 屋 紀 忠 |
| 奉 仕 活 動 委 員 長 | 河 本 親 秀 |
| 財 団 委 員 長 | 井 上 浩 吉 |
| 幹 事 | 田 中 敏 治 |
| 会 計 | 大 藤 勉 |
| 直 前 会 長 | 百 瀬 恵 美 子 |

役 員

| | |
|-------------|-------------|
| 会 長 | 新 宅 文 雄 |
| 会 長 エ レ ク ト | 守 屋 紀 忠 |
| 幹 事 | 田 中 敏 治 |
| 副 幹 事 | 河 本 親 秀 |
| 会 計 | 大 藤 勉(重複) |
| S A A | 大 藤 勉 |
| 副 S A A | 田 中 敏 治(重複) |

会 務 分 担

| | | |
|--|---|------------------------|
| クラブ運営委員会 委員長：守屋 紀忠 | クラブ奉仕委員会 ----- クラブ会員委員会 | |
| クラブ奉仕委員会 | | |
| プログラム 出 席 姉妹クラブ 親 睦 スマイルボックス 会報・広報・雑誌 | 守屋 紀忠 百瀬 恵美子 河本 親秀 野田 幸嗣 太田 知加子 河本 親秀 原 卓 | |
| クラブ会員委員会 | | |
| 会 員 増 強 会 員 選 考 職 業 分 類 ク ラ ブ 研 修 | 井上 浩吉 理事役員全員 大藤 勉 斎藤 好正 守屋 紀忠 | |
| 奉仕活動委員会 委員長：河本 親秀 | 職業奉仕 ----- 国際奉仕 | 社会奉仕 ----- 新世代奉仕 |
| 職 業 奉 仕 社 会 奉 仕 国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕 | 斎藤 好正 石山 智司 守屋 紀忠 宮澤 保夫 百瀬 恵美子 | |
| 財団委員会 委員長：井上 浩吉 | ロータリー財団 ----- 米山記念奨学 | |
| ロータリー財団 米山記念奨学 | 井上 浩吉 太田 知加子 | |
| | | |

理事役員会

クラブ運営方針

会長 新宅 文雄

2017～2018年度 国際ロータリー イアン・ライズリー会長の テーマは
” Rotary : Making a Difference “ 「ロータリー：変化をもたらす」 であります。
「ロータリーとは何ですか」と問われれば「ロータリーとは変化をもたらす」
です。ロータリー活動は人々の人生に変化をもたらし、誰かの人生をより良く
しているからです。

RI はクラブの柔軟性と多様性を認め、クラブの自主性と適切な判断が求められる
ことになった。

大磯ロータリークラブは変化を惹起させるため、柔軟性、多様性を取り入れ、
例会に出席するのが楽しい、友と語りあい、友と奉仕活動をすればするほど
心の充実感が湧いてきて、ロータリーには不思議な魅力が潜んでいる。という
ようなクラブを目指して参ります。No Attack No Chance !

具体的には、

- 1、会員増強を本気になって取組みたい。 目標 5名
- 2、クラブ例会は、毎月第1木曜日と第3木曜日の月2回とする。
- 3、法人会員制を採用し、法人を代表する複数の人を事前登録し、どなたか1人は出席することとする。1法人1会員。
- 4、インバウンドの時代に備え、日本の食文化として、食事のマナーについて勉強会を開催したい。
和食、洋食、その他について 町民に呼びかけ、共に食事作法を学びたい。
(講師先生、場所、時季、対象年齢、募集方法、参加費用 ETC)
- 5、大磯ロータリークラブというのは、良い事をしている団体だ。町民から見ればそのように映る団体だが、更に深化する為に、色々な媒体を使って、町民を巻き込んだ事業を挙行したい。
海の見えるホールで、(2018年 2～3月) コンサート、落語、講談、漫才、映画、日舞、
バレエ、その他 何かの催事を挙行したい。

以上